

今年も「e-Tax！」(4)

篠崎 辰夫

まず今年の確定申告は、新型コロナウイルスの影響で、申告納付期限が、4月16日(木)まで一カ月延長されました。

今年は、ブラウザを「Microsoft Edge」でやってみた。e-Taxの対象ブラウザは「Internet Explorer」と「Microsoft Edge」で、いつも使って慣れている「Google Chrome」は相変わらず対応していない。

これまでの経験から、パスワードや暗証番号などはしっかり記録してあるので、スムーズに通過、収入や支出の項目も前年とほとんど同じなので、去年の申告書コピーを見ながら入力も簡単。今年も医療費が10万円以下だったので、領収書の入力もなし。e-Taxも5年目となり大分慣れてきた。

こちらが慣れてきたこともあるが、e-Taxのシステム自体も年々改善されているようだ。なにしろスタート時はガチガチのシステムで、識別番号、暗証番号、パスワード、パスコードなどの関所がいたるところで登場し、間違えて入力してエラーを数回繰り返すと番号申請からやり直しとなる。名称も統一されてなくて悪戦苦闘だった。よく挫折しないでこれまで付き合ってきたと思う。税務署から表彰して欲しい。

今、国税庁では盛んに『スマホで確定申告』を勧めている。昨年から導入され、今年から対象が拡大して公的年金の人も対象になり、年々便利になっているという。これまでパソコンであれだけ悪戦苦闘してきたのに、それがスマホで簡単に出来るなんて俄かに信じられないが、本当に簡単に出来るのなら便利だ。

よし、**来年は「スマホで e-Tax」に挑戦しよう！**

e-Tax はそれなりの集中力を伴い、刺激にもなるので、脳のトレーニングになる。高齢者こそ「e-Tax！」。おすすめします。

(2020/03/05)